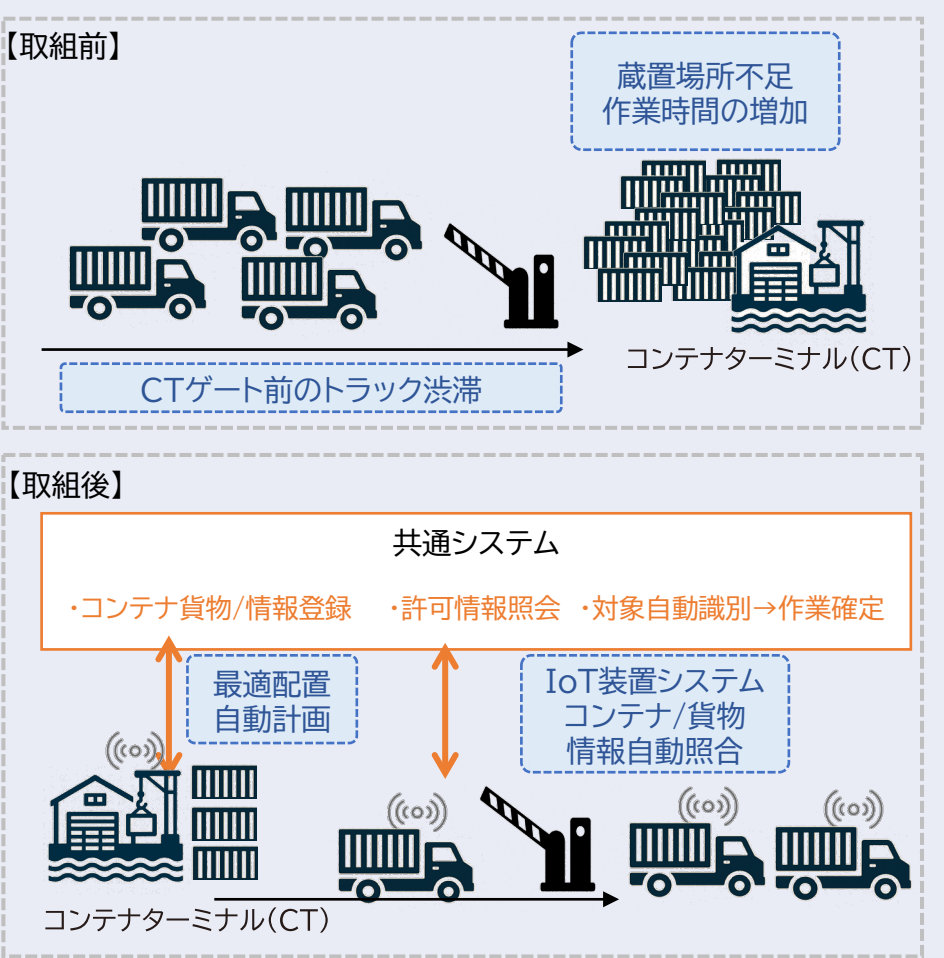


6. <事例4>DSRCアンテナとみちびき衛星GPSによる CT荷役効率化の省エネ実証事業／株式会社シスコム

事業概要

- 荷主と運送業者の情報を共通システムで連携し、AIがコンテナの最適な配置を自動計画
- トラックがターミナルに到着すると、ETC装置を使って貨物情報を自動で識別

事業スキーム



事業者情報	業界(輸送品目)	建設(コンテナ・建設資材)
	申請者 (従業員数)	代表:IT・システム開発(約117名) 共同:建設資材製造・販売 (約1,392名) 輸送事業者1(約90名) 輸送事業者2(約30名)
	導入システム 及び機器	共通システム: コンテナ取扱共通システム 輸送効率化機器: ①許可情報照会システム ②作業コンテナ自動照合システム
	従前の 物流課題	コンテナターミナル(CT)内でのコンテナ蔵置(一時仮置き行為)場所不足により、コンテナ1本あたりの作業時間が増加し、CTゲート前のトラック渋滞が発生。
	事業費※	補助対象経費:241,242,556円 補助金の額: 71,372,639円
	エネルギー 消費削減量(率)	【トラック輸送に係る削減】 0.0007L/t・km (2.04%) 【ストラドルキャリアに係る削減】 0.105L/t・km (19.64%)

※事業費は交付決定額